

パネリストのご紹介

第11回アカエゾマツサミット in 弟子屈・川湯



古谷 知華（日本草木研究所 代表）

1992年、東京生まれ。東京大学工学部建築学科卒。大手企業を経て独立。調香やハーブ・スパイスに関する知識を活かしてクラフトコーラの生みの親である「ともコーラ」を18年に開発し、ヒット商品に。21年からは日本の山に自生するハーブ&スパイスのプラットフォーム「日本草木研究所」を立ち上げる。



前田尚之（酪農学園大学農食環境学群 教授）

博士（獣医学）(酪農学園大学)。北海道の間伐材、特に抗菌性の強いアカエゾマツに着目し、アカエゾマツチップを用いた燻製ベーコンなど、食品加工における活用に向けて研究を実施。専門は、食品科学、衛生学、健康科学、文選生物学など。



中田幸子（ルボアフィットテラピースクール講師）

AMPPメディカルフィットセラピスト。漢方養生指導士。家庭科講師の経験を活かし、衣食住多様な視点から日々活かせるフィットセラピー（植物療法）を伝えている。個々の体質に対応したケア、養生など東洋の知識も織り交ぜながらご自身を大切にすることが楽しくなる講義を提供。



齋藤敬子（Kussharo Factory）

チームくっしゃろ代表として、屈斜路湖周辺のアイヌの文化や言語を発信する地域活動を実施。また、パートナーの磯里博巳氏とともに、オリジナルデザイン&ハンドメイドのアイヌ民芸品制作・販売を手掛ける「Kussharo Factory」を運営。



本田知之（林野庁/農林水産政策研究所）

林野庁に入庁後、北海道知床での魚道建設や森林管理、森林特化型のビジネス開発プログラムの立ち上げなどを行う。米国シアトルでの勤務を経て、現在は森林分野の国際業務を担当。一般社団法人Pine Grace理事。明治大学大学院商学研究科在席。